（様式2） 実行計画管理シート

事業名	139	地産地消推進事業	部・課	産業文化部　農業振興課

総合計画との関係	基本目標等	地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち
	施策目標等	22　農を守り、生かすまち
	（関連施策目標等）	
	（関連施策目標等）	
	4つの重点的に進める施策との関係	
総合戦略との関係	基本目標	
	施策目標	
市長公約との関係		＜所信表明・市政運営方針での表現＞
	所信表明	
	2016(H28)年度市政運営方針	
	2017(H29)年度市政運営方針	
	2018(H30)年度市政運営方針	

事業概要（目的・内容等）	地産地消を促進し地域農業の振興を図るとともに、児童の食育教育を推進するため、学校給食にエコレンゲ米や野菜など地元農産物を供給する。また、農業者団体（市内直販団体）による自家生産の農畜産物を市民へ直接対面販売する「ふれあい朝市」の開催を支援する。

取り組み状況

これまでの取り組み状況		市立小学校の学校給食では、昭和62年度の玉葱の供給からはじまり、平成7年5月に枚方市生鮮農産物供給組合（事務局：JA北河内）が組織され、供給可能な品目・量が拡大し、枚方産農産物を活用することで食育活動を推進している。 農業者の10団体が行う自家生産の農畜産物を市民へ直接対面販売（10箇所）する直販事業に助成している。
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	・学校給食に対し農薬・化学肥料を5割以上削減して栽培した大阪エコ農産物の野菜や米等の地元農産物の供給。また米の供給については、環境にやさしいエコレンゲ米の活用促進 ・農業者団体（市内直販団体）による「ふれあい朝市」の開催の支援
	実績（評価）	・学校給食に対し、米、えんどうまめ、たまねぎ、さつまいも、だいこん、キャベツ、はくさい、じゃがいも、ほうれん草、チンゲンサイ、青ねぎ、なす、小松菜、人参、冬瓜、黒米の16品目を供給し、地産地消を促進した。枚方産の食材を献立表に記載する等により、子どもたちの食への関心や知識を高めた。 ・学校給食へ環境にやさしいエコレンゲ米を2ヶ月分、42,016kg（玄米ベース）納入した。 ・農業者団体（市内直販団体）による「ふれあい朝市」（直接対面販売）の支援を実施した。
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	

2019(H31)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	
備考		

課題	現状、目標値以上達成しており、今後も継続して達成できる見込みである。		
今後の対応	現状のまま維持する。		
達成状況（実行計画）	○：達成に向けて進行・継続中		

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
市内各所での「ふれあい朝市」の開催回数	○		735	743	849				740	回
指標の説明										
枚方市駅周辺をはじめとした市内各所での「ふれあい朝市」の開催回数			計画的に開催し、目標達成している。							

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明										

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明										

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明										

事業費（決算ベース）

単位：千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	3,917						3,917
2017(H29)年度	0						
2018(H30)年度	0						
2019(H31)年度	0						

整備事業の場合の総事業費 0 千円 （建設経費 0 千円 ， 用地費 0 千円 ）